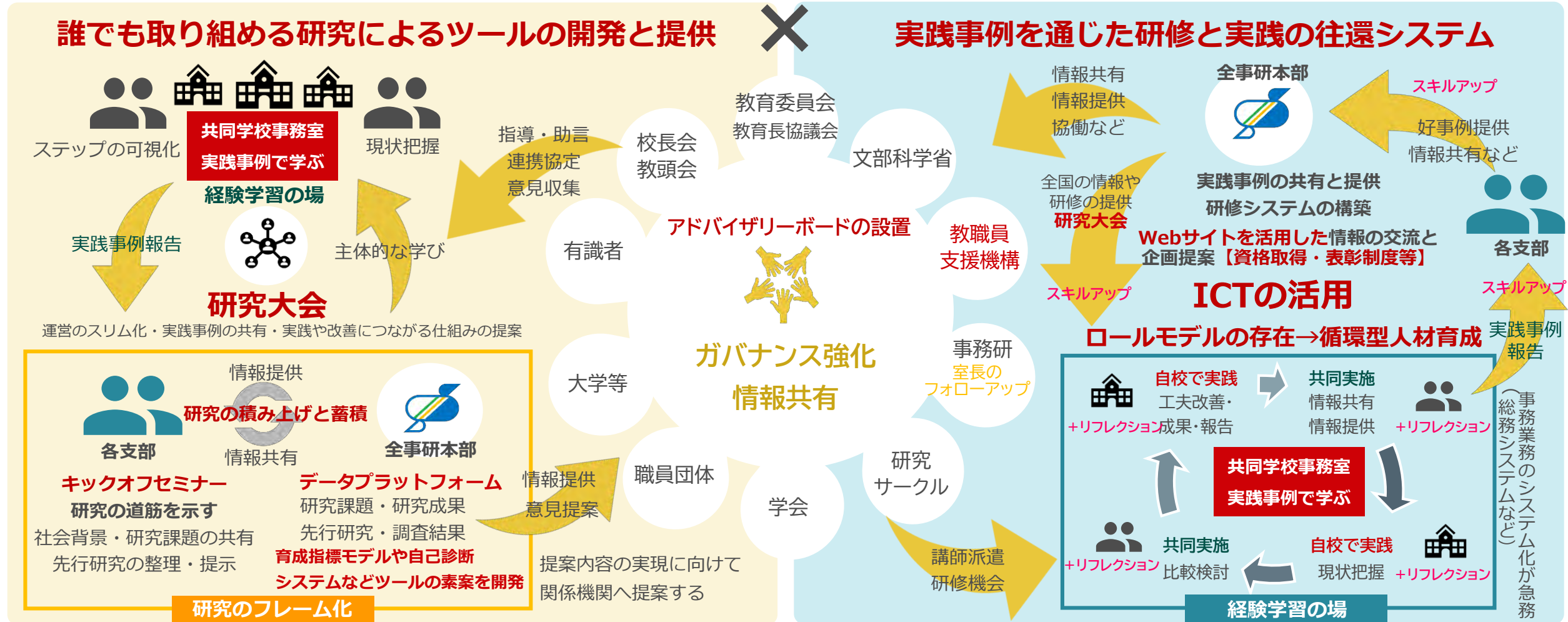


これからの全事研の在り方
実践を基盤とした研究会活動

事務職員の実践の質を高める



※勤務条件の維持改善など内容については職員団体からの要望が望ましい

※実現のためには共同学校事務室の執務環境（ICT環境）や室長の人事評価、加配等の条件整備も重要

全国の事務職員のレベルアップ → 子どもの豊かな育ちと教職員のウェルビーイングの確立へ
そのために全事研は活動の見直しと改革を行います

全事研活動の改善案

研究と研修によって事務職員の能力開発、力量形成につながる活動を実施します
初任者からベテランまで全国の事務職員の学びのプラットフォームをめざします
文部科学省・教職員支援機構・校長会・教頭会等関係機関との連携・協働を推進します

現状と課題

事務研離れと役員のなり手不足
支部からの情報提供の停滞
研究会活動の多忙化と研究大会運営の肥大化
仕事や生活への影響

見直す活動

※持続可能な活動とするために
役員の処遇と合わせて改善を図る

- ①会議の精選【順次取組・令和5年度事業(R5.8~)に向け整理】
議題、回数、時間、オンライン化の推進、
実施時間帯(勤務時間内、時間外)の検討
- ②運営【令和5年8月定期総会での提案に向け検討】
総会・評議員会・功労者表彰の在り方
クラウド(グループウェア)運営で効率化を図る など
- ③研究【即時取組開始・第10次研究中期計画実施期間での確立】
研究倫理の確立
事務職員の職務を確立するための研究から社会の要請に応え職務を果たしていくための研究にシフトチェンジ
- ④調査の精選(外部委託も視野に入れる)
【即時取組開始・令和5年度事業(R5.8~)に向け整理】
コンプライアンスの観点で見直し、事務職員の現状を把握する内容とする。既存の調査との重複を避ける
- ⑤広報【順次取組・令和5年度事業(R5.8~)に向け整理】
Web→リニューアルと資質向上のための情報をアップする
会報→デジタル版、発行回数、記事の精選
実践事例の収集と情報提供→支部と連携し、好事例の収集、紹介、コメントを通じた資質向上計画を実施する
研修コンテンツをWebに掲載し、個別最適な学びの推進と関係諸機関とプログラム開発を行う

重点的に取り組むこと

- ※実践につながる学びの提供
- ・根拠に基づいた研究の推進
- ・実践事例の収集
- ・支部との連携・役割分担
- ・関係機関・他団体との連携・協働

研究会・セミナー

※事務職員の学びと実践
交流の場として改善を図る

- ①研究会【原則福井大会より改善する。
ただし、集録等は次回大会に向け改善】
全員参加できる体制づくり
ICTを活用した運営
大会運営の簡素化
リハーサルの実施方法
全事研コーナーの在り方
PRの方法
集録・記録集・速報の作成・発行
など
- ②セミナー
個別最適な学びと協働的な学びとする
リーダー育成の場としていく
実施方法
動画コンテンツの充実
振り返りシートなど学びの定着を図る
ツールの検討
など